



学校だより

はくれい

白山市立
白嶺小中学校
第15号

令和3年11月19日

夢や目標に向かって決意を新たに！ 中学2年生・立志式

10日、本校集会室で、白嶺中と鳥越中の2年生を対象に白山市立志式が行われました。初めに、生徒を代表して白嶺中の中野咲希さんが、白山市民憲章を朗読しました。また、主催者の白山市教育委員会を代表して井南社会教育委員の挨拶、続いて澤田市議会議員からお祝いの言葉を頂きました。お2人からは、14歳の元服の式に由来するこの節目の機会に今までの自分を振り返り、目標を持ち決意を新たにすること、また、多くの人に支えられてきたことへの感謝の気持ちをもつことなど激励の言葉がありました。

最後に、生徒を代表して白嶺中の尾田柚稀さんが、力強く「責任ある立派な大人へと成長するために、この立志を機会に自分自身で考え、決定し、目標や夢に向かって努力していきたい」と力強く立志の言葉を述べました。

式後、コンピュータークラブハウス加賀の古岡史帆さんによる記念講演が行われました。



*「立志」という言葉の由来はいくつかありますが、江戸時代末期に武士であり思想家であった橋本左内が、15歳の時に『啓発録』という5箇条の覚え書きを残しています。その中に「立志」という1箇条を記したことも言われています。左内がこれからどのように生きていくかを書いたものが『啓発録』。時代が変化した今の時代でも、大切にしなければいけないことが書かれています。

『啓発録』

- 一、稚心を去る（ちしんをさる）・・・怠惰な心や親への甘えは捨て去るべき
- 一、気を振るう（きをふるう）・・・人に負けまいと思う心、悔しいと思う心を常に持つ
- 一、志を立てる（こころざしをたてる）・・・自分の心の赴くところを定め、努力する
- 一、学に勉める（がくにつとめる）・・・学問では何事も強い意志を保ち、努力を続ける
- 一、交友を択ぶ（こうゆうをえらぶ）・・・互いに切磋琢磨できる良き友を選ぶことが必要

白嶺小・白峰小 5、6年生の交流

6日、本校で性教育授業と6年生の中学校の学習体験、5年生の学習発表交流会が行われました。6年生は理科の授業で「自分の全身を見るには何センチ必要か」という課題に取り組みました。両校の児童は協力しながら一緒に実験し結果をまとめていました。あと5ヶ月後には同じ中学校で一緒に学ぶこととなりますね。5年生は総合的な学習の時間に学んだことをそれぞれ発表しあいました。

